

南海高野線で踏切の遮断桿が上昇した状態で列車が通過した件につきまして（お詫びとご報告）

本日6時26分ごろ、高野線の西天下茶屋1号踏切におきまして、踏切の遮断桿が上昇した状態で列車が通過し、自動車と接触する事故が発生し、長時間にわたり列車を運休することとなりました。

自動車の運転手の方をはじめ、当該列車にご乗車されていたお客さま、関係する皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫びいたしますとともに、今後再発防止に努めてまいります。詳細は以下の通りです。

1. 発生日時 2024年2月6日(火) 6時26分ごろ
2. 発生場所 高野線 西天下茶屋1号踏切（大阪府大阪市西成区橋3丁目4先）
3. 当該列車 岸里玉出駅（6時25分）発 汐見橋駅行き（上り）
※10名がご乗車しており、乗客の方におケガはございません。

4. 概況

当該列車が西天下茶屋駅停車に際し減速中、西天下茶屋駅付近にある西天下茶屋1号踏切を通過する直前で、降りていた遮断桿が上昇したことに運転士が気づき、ただちに非常ブレーキをかけるとともに警笛を鳴らしましたが、列車通過待ちをしていた自動車が発進し、踏切内で列車の先頭車側面と、自動車の助手席側のヘッドライト上部が接触し損傷しました。なお、自動車の運転手の方は、緊急搬送はされておられません。

また、当該列車以降、同踏切が正常に動作することを確認できるまで運転を見合わせておりましたが、試運転列車により正常に踏切が動作することを確認できましたので、16時40分ごろ運転を再開しました。

5. 影響

	当該列車	後続 上り	後続 下り	合計	最大遅延
影響本数 (うち運休)	1本 (1本)	20本 (20本)	20本 (20本)	41本 (41本)	—
影響人員	約10人	—	—	約1,000人	—

6. 原因

岸里玉出駅～西天下茶屋駅の千本通架道橋(せんぼんどおりかどうきょう)において、レールと^(※)フックボルト(1本)が列車振動等により、一時的に接触した影響で、電気回路上、列車が在線していない状態となり、当該列車が当該踏切に接近しているにもかかわらず、踏切の遮断桿が上昇したものです。

(※)フックボルト…レールを支える枕木と(千本通架道橋の)橋桁(はしげた)を締結するボルト

7. 再発防止策

仮処置として、当該フックボルトを撤去しました。本対策として、2月9日にフックボルトを含め、枕木交換を実施する予定です。

今後、同様の条件が考えられる箇所についても、早急に確認作業を進めてまいります。

以上